

JABEE 事務局ニュース No. 2

2010年4月9日

1) 専門職大学院認証評価機関、認証書交付式

昨年5月以来、専門職大学院認証評価準備委員会（阿草清滋委員長）が中心となって準備を進めてきましたが、このたび、文部科学大臣から専門職大学院認証評価機関として認証されました。3月31日、文部科学省において認証書授与式（徳永保高等教育局長(写真右側)から認証書を受ける）がおこなわれ、以下のプレスリリースを配信しました。



一般社団法人 日本技術者教育認定機構（JABEE） 専門職大学院の認証評価機関として認証される

一般社団法人 日本技術者教育認定機構(略称 JABEE)は、2010年3月31日、文部科学大臣から学校教育法第110条の規定に基づき、情報、創造技術、組込み技術、原子力分野の専門職大学院の認証評価機関として認証された。JABEEが行う「認証評価」は、法律で義務化された第三者評価であり、対象となる専門職大学院は開設から5年以内に最初の認証評価を受け、以後5年以内ごとに継続のための認証評価を受けなければならない。JABEEが認証評価機関として認証されたことは、わが国の技術者教育認定が「国が認証した認証評価機関による第三者評価」と「評価結果の公開」において新しい段階に入ったことを意味する一里塚である。

設立以来、JABEEが実施している「認定審査」は、任意で申請をした高等教育機関に対し学科別の技術者教育プログラムを審査するものであり今後も継続される。JABEEは1999年11月、大学、高専等の高等教育機関が行う技術者教育プログラムの認定を通じて、わが国の技術者教育の質保証制度を確立し、併せて国際的な同等性を確保することを目的として設立され、学士課程の認定プログラム数は、2001年度の認定開始から2008年度までに158高等教育機関の409プログラムとなり、その修了生累計は9.5万人を超えた。

認証評価は、学校教育法で定められた評価を文部科学大臣の認証を受けた評価機関が実施するものです。JABEEは申請のあった大学院専攻のうち、適格であると認定したものに対して適格認定証を交付します。認証評価報告書を文部科学大臣に提出し、認証評価報告書と大学院専攻の自己評価書(本文編)をJABEEのホームページに掲載することが義務付け

られています。

2010年度から専門職大学院の認証評価を開始します。JABEEは、専門職大学院に限らず、今後制度化が進むと予想される専門分野別（工学系は学科別）認証評価に、これまでの理工農系技術者教育プログラムの認定審査の経験を生かして、積極的に取り組む方針です。

2) ワシントン協定継続加盟準備

JABEEは2005年にワシントン協定に加盟しました。2011年秋には他のワシントン協定加盟団体からの審査員で構成される審査チームを迎えて継続加盟審査を受けます。2003年の加盟審査では「日本はエンジニアリング・デザイン教育が弱いのではないか」、「卒業研究は学生にエンジニアリング・デザインの経験をつませる強い構成要素となっていない」との指摘がありました。2011年に継続加盟審査を受けるには、本年5月にこれらについての改善点を示した報告書を提出する必要があります。目下、認定事業部門と国際委員会が中心になって報告書を作成しています。6月21-25日、カナダのオタワで開催されるIEA Workshopで報告内容を発表します。

今後、各分野の学協会や受審校とエンジニアリング・デザイン教育について議論を深めていきたいと思えます。

3) 事務局新人、石井英志氏の紹介

4月1日付けで石井英志（ひでし）氏が事務局の一員となりました。JABEEの賛助会員である日本電気株式会社からの出向です。コンピュータ技術部門を歩いてきた技術者です。米国駐在、日本情報処理開発協会への出向の経験もあります。審査を担当します。よろしくお願ひします。



以上

JABEE事務局ニュースは社員（正会員）、賛助会員、理事、監事、顧問、委員会委員宛に発信しています。同じものをJABEEのホームページにも掲載しますが、みなさんから関係者に転送して情報のより広い共有をしていただければ幸いです。